

校番	008	ホームルーム活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
----	-----	----------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立三原東高等学校	校長	波多野 徹	生徒指導主事	多田 靖
-----	-------------	----	-------	--------	------

取組事例名 『特別活動における生徒の自己肯定感を高める取組』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性・積極性」	2	「自己肯定感・自己有用感」	1

取組のねらい

- (1) 特別活動を通して生徒の自己肯定感を高め、学校生活を意欲的に送る素地をつくる。
- (2) 生徒会活動を中心にして、生徒の主体性を醸成する。

取組の具体的内容

取組の創意工夫

『さらなる成長』

- (1) 「成長をふりかえるシート」
学校行事（1学期：楠木祭(文化祭)、2学期：運動会）の際に、自分が「成長した」と思う割合を10段階で評価し、できた（できるようになった）ことを箇条書きでふりかえらせ、自分自身の成長に気付かせる機会を設けた。
- (2) 「生徒会通信」
「成長をふりかえるシート」の集計結果をもとに、生徒会執行部が「生徒会通信」を発行することで、生徒自身で行事の成果をフィードバックした。
- (3) 「東高ルーブリック」（学校生活のルーブリック）
11月に実施した縦割りLHRで、生徒自身が「時間を守る」「身だしなみ」「授業への取り組み」について、「学校生活で何ができるようになればよいか」を考え、グループごとにルーブリック表を作成した。その成果をもとに、執行部が「東高ルーブリック」としてまとめ、全校生徒に提案した。

- (1) 今年度の学校スローガン「さらなる成長」を活用して、生徒に1年間を通しての目標を意識させた。
- (2) 生徒どうしが刺激しあい、「やる気」をおこすことをねらい、生徒会執行部を中心に、生徒に任せる機会を設けた。



「東高ルーブリック」の提案

取組の成果と課題

- (1) 「成長をふりかえるシート」の集計結果は、楠木祭（6月）5.8、運動会（9月）6.3と、行事を重ねるごとに、成長したと感じる割合が高まった。また、学年が上がるにつれて、行事への思い入れも強くなり、達成感も増した。今後は、担任がHRにおいて「できるようになったこと」を認めたり、ほめたりするなど、学校全体で「成長をふりかえるシート」を活用していくことが考えられる。
- (2) 生徒会執行部会で行事ごとにふりかえりをおこない、生徒会通信（1～3号）を発行することで、「成長をふりかえるシート」の集計結果などを生徒にフィードバックした。
- (3) 縦割りLHRでのグループ討議については、生徒から「自分たちで考えるから守ろうという気分になった」「できることだと思った」「みんなわかっていることなので、意識して行動することができればいい」「これからの学校生活で今まで以上に意識して行動していきたい」「コミュニケーション能力を鍛えたい」という感想があがった。「東高ルーブリック」については、全校集会で執行部が呼びかけをするなどして、学校全体の文化として浸透させていく必要がある。